

## 長岡市子ども・子育て支援事業計画（仮称）素案への子ども・子育て会議委員からの意見に対する回答

No.	ページ・行 事業番号	意見	長岡市の回答	担当課
1	P1 本文18行目	「子育ての不安や悩みを解消するよう相談業務を充実させる」 ・「解消する」という表現が気になる。子育ての不安や悩みは解消できるものではなく、話を聞いてもらうことにより、ともに考えていけるような相談業務のあり方が必要。	「子育ての不安や悩みを聞き、一人ひとりに寄り添うよう、相談業務を充実させる」に修正します。	子ども家庭課
2	P1 本文24行目	「幼児期の学校教育・保育、・・・」 ・学校という表現に違和感がある。 「幼児期の <u>教育</u> ・保育、・・・」の方が良いのではないかと。	「幼児期の教育・保育」に修正します。	子ども家庭課
3	P27	基本理念「明るい笑顔が一番」の施策の方向性 ・「親の子育て力をつける」の文章の後に「支援」または「事業」という言葉を入れた方が分かりやすいのではないかと。	「親の子育て力をつける <u>支援</u> 」に修正します。	子ども家庭課
4	P32・7	「幼い子どもに対しての愛着や命の大切さなどを学ぶ体験の機会を充実させていくことが必要・・・」 ・『未来へ「いのち」をつなぐ』の表現に統一した方が良いのではないかと。	タイトルで使用する際は「いのち」と表記しますが、文章の中では漢字の方が分かりやすいため、「命」と表記します。	子ども家庭課
5	P32・15	「命を大切に <u>する</u> 気持ちを育てることが重要・・・」 ・『未来へ「いのち」をつなぐ』の表現に統一した方が良いのではないかと。		子ども家庭課
6	P33 1-1-1	①子育ての駅における小・中・高校生と親子の交流事業 ・小・中・高生等を対象にしているが、市内には専門学校や大学が多数あり、市外からの入学者も多くいる。成長過程において、高校を卒業後も継続した子育ての駅での交流体験は、年齢的にもより子育てを実感として結び付けやすいものであるため、次年度以降、大学生も対象にできないものか。	子育ての駅では専門学校生や大学生との交流事業も積極的に行っていますが、本事業は、それよりも若い世代である、小・中・高校生のうちから次代の親となるということを認識してもらうことを目的としているため、あえて「小・中・高校生」としていません。	子ども家庭課

No.	ページ・行 事業番号	意見	長岡市の回答	担当課
7	P33 1-1-2	<p>②次代の親育成事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育ててくれた親・家族への感謝の気持ちを育むことも大切であるため、そのような文言が含まれていた方が良いのではないか。</li> </ul>	<p>保護者への感謝の気持ちを育むことが大切である旨、追加します。</p> <p>⇒「中学生を対象に、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、母親から出産や育児に関する話を聞いたりするといった乳幼児や母親とのふれあいを通して、幼い子どもへの愛着や命の大切さを学びながら、自己肯定感や自尊心、<u>これまで育ててくれた保護者への感謝の気持ちを育みます。</u>」に修正します。</p>	子ども家庭課
8	P33 1-1-3	<p>③ライフデザインに関する情報提供（子ども家庭課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27、28年度は実施しないのか。</li> </ul>	<p>現在検討中であり、関係機関と協議後、決定次第実施します。</p>	子ども家庭課
9	P40 1-4-4	<p>④飲酒・喫煙等防止教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「発達段階に応じた喫煙防止教育の充実」とあるが、飲酒についても同様か。</li> </ul>	<p>飲酒に関しても同様に発達段階に応じた未成年飲酒防止教育を実施しています。また、危険ドラッグに関しても、適切に対処する必要があることを指導しています。</p> <p>そのため「発達に応じた飲酒・喫煙等防止教育の充実」と修正します。</p>	学校教育課
10	P40 1-4-4	<p>④飲酒・喫煙等防止教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒・喫煙だけではなく、今問題となっている危険ドラッグに関する教育もしてはどうか。</li> </ul>		学校教育課
11	P40 1-4-6	<p>⑥デートDV出前講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校数を増やすことはできないのか。全校実施が望ましいのではないか。</li> <li>恋愛の低年齢化が進んでいるため、多くの生徒に聞いてもらいたい。</li> </ul>	<p>デートDV出前講座は、各学校の養護教諭を対象とした説明会を開催し、希望する学校から保健や人権の授業として実施していただいております。若年層に対する予防に効果があると考えております。</p> <p>今後も、授業に取り入れていただけるよう、各学校に働きかけてまいります。</p>	市民活動推進課
12	P42 2-1-2	<p>②父と子のメモリアルカード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メモリアルカードの配布だけでなく、そのカードを活用した交流事業を実施してはどうか。</li> </ul>	<p>母子保健推進員の活動の場などにおいて、参加されたご夫婦からカードを活用して子育てについて話し合い、グループでの意見交換など交流もはじめています。</p> <p>そのため「カードを活用した事業を実施します」と追加します。</p>	子ども家庭課

No.	ページ・行 事業番号	意見	長岡市の回答	担当課
13	P45 2-1-12	<p>⑫食育の推進【乳幼児期の親の「食」に対する学習機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で行う調理実習の中に食物アレルギーが心配な親、食物アレルギー児の親も対象にした調理実習も入れてほしい。</li> </ul>	地域で行う調理実習は母子保健推進員や食生活改善推進委員といったボランティアによる活動であり、各地域で誰でも参加できるような、基礎的な食に関する知識の啓発事業として実施しています。そこに講師で栄養士がいる場合はそれぞれの個別の相談にのることができますが、特定なものの調理実習などは難しい状況です。	子ども家庭課
14	P52 2-3-7	<p>⑦未熟児訪問指導事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未熟児の表記を「低体重児（または低出生体重児）及びハイリスク児」に修正してはどうか。</li> <li>未熟児は「身体機能が未熟」の意味であり、医学用語はない。病院関係者も配慮していることから、本計画においても配慮が必要ではないか。</li> </ul>	母子保健法及び国の負担金交付要綱に基づく制度であるため、事業名は修正しません。	子ども家庭課 福祉課
15	P57 2-4-4	<p>④未熟児養育医療助成の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未熟児の表記を「低体重児（または低出生体重児）及びハイリスク児」に修正してはどうか。</li> <li>未熟児は「身体機能が未熟」の意味であり、医学用語はない。病院関係者も配慮していることから、本計画においても配慮が必要ではないか。</li> </ul>		
16	P59 3-1-1	<p>①子どもの発達や成長に関する相談・支援</p> <p>「毎日のくらしのなかで・・・」 ⇒「なか」と「中」のどちらかに統一した方が良いのではないか。 (P32 6行目「十分とは言えない状況の中」)</p>	「中」に統一します。	子ども家庭課
17	P62 3-1-6	<p>⑥障害児通所支援事業【柿が丘学園の運営】</p> <p>「通所している子どもに対する支援・・・」 ⇒「通所」より「通園」の方が良いのではないか。</p>	「通園」に修正します。	子ども家庭課

No.	ページ・行 事業番号	意見	長岡市の回答	担当課
18	P63 3-1-6	⑥障害児通所支援事業【保育所等訪問支援事業】  「保育所等を訪問し、・・・」 ⇒保育所を保育園に修正した方が良いのではないか。	「保育園」に修正します。	子ども家庭課
19	P71 3-5	子どもの貧困対策の推進  ・子どもの貧困対策大綱の施策と比べて具体的施策が少ない ・特に学校をプラットフォームとした、様々な支援策に繋がることのできない貧困世帯への対策の強化が必要と思われる。 ・大綱が示されてから時間が少なく検討する時間が少ないのであれば、子どもの貧困対策プロジェクトチームの設置などによる施策の推進という表記でも良いのではないか。 ・P68のひとり親家庭等の自立支援の推進も再掲して良いのではないか。 また生活困窮者支援事業との連携も必要ではないか。	子供の貧困対策に関する大綱の施行に伴い、今後、関係課が連携して検討を進めてまいります。	生活支援課 子ども家庭課
20	P80 5-1-1	①子育てコンシェルジュ（仮称）事業  ・「コンシェルジュ」という表現が分かりにくい。 「個別相談窓口の設置及び相談員の常駐（子育てコンシェルジュ）」に変更してはどうか。	検討の結果、「子育てコンシェルジュ（子育てなんでも相談員）」に修正したいと考えています。	子ども家庭課
21	P90 5-4-12	⑫青少年育成団体等への支援  「生きる力」をはぐくむことができる・・・ ⇒「はぐくむ」と「育む」のどちらかに統一した方が良いのではないか。 (P36 2行目「子どもたちの生きる力を育み」)	「育む」に統一します。	子ども家庭課